

第1学年 音楽科学習指導案

平成23年9月21日 (水) 第5校時

第1学年A級 (男子20名、女子20名)

指導者

小平 華子



1 単元 豊かな表現を味わう

2 目標

- 楽曲への興味・関心を持ち、積極的に鑑賞に取り組むことができる。
- 楽曲の背景を知りイメージを膨らませ、感じたことや楽曲のよさを言葉で表現することができる。
- 楽曲を特徴付けている要素や工夫に気づくことができる。
- 楽曲のイメージや情景を想像しながら鑑賞することができる。

3 指導観

- 本単元は、学習指導要領の第1学年の内容の鑑賞(1)―ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。」、イ「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。」をねらいとして設定したものである。今回取り扱う「ブルタバ」はスメタナ作曲による連作交響詩「わが祖国」の第2曲である。本単元のねらいである「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。」は、生徒が楽曲を聴いて、どんな楽器で演奏されているか、どんな表現の工夫をしているのかなどを感じ取り、ワークシートに書く、もしくは口頭で発表することができるようにするということである。また、「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること」は、作曲者の想いや作曲当時の社会的背景などを理解し、楽曲に込められた想いなどにも目を向けて鑑賞することができることをねらいとしている。
- 本学級の生徒は、これまでにオーケストラや弦楽曲などの演奏の鑑賞をすでに行っている。また、情景を思い浮かべながら楽曲を聴くことも経験している。しかし、作曲者が情景を表現するために行った音楽的な工夫や、特徴づけている要素などを考え、聴くという学習はまだ行っていないため、これからの学習によるところが大きい。
- 本単元では、教材「ブルタバ」が作曲されるにあたっての歴史的背景や作曲者の想い、当時の状況などについても学習したうえで楽曲を聴き、曲に込められた想いや描かれている情景について学習できるようにしたい。スメタナ作曲による「わが祖国」は、チェコ共和国がオーストリアの統治下にあったころに作られた、ボヘミア地方の自然や伝統などを題材にした六つの楽曲からなる連作交響詩であり、「ブルタバ」はその2番目におかれた楽曲である。ボヘミア地方を流れるブルタバ川の流れを水源から追っていき、森の狩猟の様子や農民たちの踊り、月の光や水の妖精、聖ヨハネの急流、そして最後にはビシェフラトの城が描かれ、ドイツのエルベ川へと注ぎこんでいく。水源から下流までのブルタバ川の様子、また周囲の景色や人々の生活などが、様々な楽器によって工夫されて演奏されている。水源を表わすフルートやクラリネット、ブルタバの主題を演奏する第一ヴァイオリンやオーボエ、狩猟の様子を表現するホルンなど、情景に応じた楽器が使われており、またダイナミクスなども工夫されている。まずは楽曲が作られた時代背景などについて学び、曲に込められた想いとはどんなものか想像し、自分の考えを発表する。その後、オーケストラによる楽曲の表現の仕方について、どんな情景を描いているのか、どういう点を工夫して演奏しているのか音源や譜例をもとにして考えていきたい。自分の考えだけでなく友達の実見もお互いに聞いて考えを深め、楽曲に対するイメージを膨らませることで、楽曲の鑑賞に対する意欲・関心が高まるようにしたい。

4 指導計画

豊かな表現を味わう

2時間

(1) 標題ごとの特徴を感じ取り、情景をイメージしながら鑑賞する。

1時間

(2) オーケストラの表現の工夫や特徴付けている要素に気を付けて、情景を思い浮かべながら聴く。

1時間(本時)

5 本時の学習指導

(1) 目標

○ スメタナの表現の工夫に気を付けながら、オーケストラの演奏を味わおう。

(2) 資料及び準備

DVD、LD、写真、掲示物、ワークシート

(3) 学習指導過程

学習内容及び活動	指導上の留意点	時間
1 前時の復習をする。 ○ どんな表題が付けられていたか確認する。 2 本時の学習内容と目標を確認する。 スメタナの表現の工夫に気を付けながら、オーケストラの演奏を味わおう。	○ 楽曲や、作曲された背景などについて思い出すことができるように、写真を掲示し、前時の学習内容を振り返る場を設定する。 ○ 本時の学習内容を明確にし、学習に見通しを持てるようにするために、目標を提示する。	5分
3 オーケストラについて学習する。 ○ 「ブルタバ」を演奏しているオーケストラに使われている楽器の種類と配置について学習する。 ○ 「The Young Persons Guide to the Orchestra」を鑑賞し、感想を発表する。	○ オーケストラの構成や配置についてわかりやすいようにするために、配置図を用いて説明する。 ○ オーケストラで用いられる楽器の音色の特徴をとらえることができるように、木管楽器、金管楽器、弦楽器、打楽器の音を聴いて、感想を発表する場面を設定する。	15分
4 「森の狩猟」、「月の光、水の精の踊り」「ビシェフラト」で用いられている主な楽器選びの工夫を考える。 ○ 標題ごとに、どの楽器を使えば情景を表現できるか考え、理由とともにワークシートに記入し、発表する。 ○ 実際に曲を聴いて、スメタナが選んだ楽器は何か確かめる。	○ 自分だったらどのように表現するか意見をまとめることができるように、自分の考えを書き、発表する場面を設定する。 ○ スメタナが楽器を選択した理由を感じ取ることができるように、特徴を述べるなどの手立てを行う。	30分
5 「ブルタバ」を一曲通して聴く。 ○ 感想をワークシートに書き、発	○ 本時で学習したことをもとにワークシ	

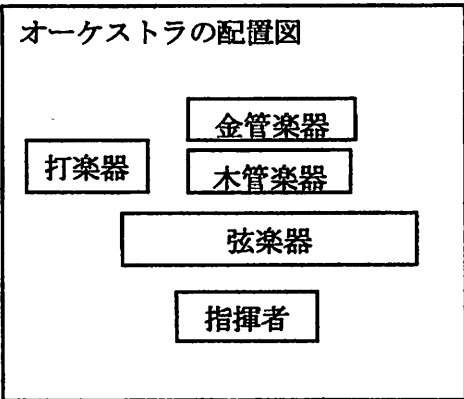
表する。	ートに感想を記入することができるように、作曲者が情景を表現するために行った工夫を考えながら曲を聴いて感想を書き、発表する場面を設定する。	47分
6 本時のまとめをする。 ○ 本時で学習したことを振り返る。	○ 本時で学習した内容を、他の楽曲を聴くときでも感じることができるように、楽器の選び方、使い方にも作曲者の工夫が凝らされているということをまとめとして伝える。	50分

6 板書計画

「ブルタパ」連作交響詩「わが祖国」から スメタナ作曲

目標 スメタナの表現の工夫に気を付けながら、オーケストラの演奏を味わおう。

写真	写真	写真	写真	スメタナの 写真
二つの水源	主題	森の狩猟	農民の踊り	
写真	写真	写真		
月の光、……	聖ヨハネの…	ビシェフラト		

オーケストラの配置図  The diagram shows the layout of an orchestra. At the top are the '金管楽器' (Brass instruments) and '木管楽器' (Woodwind instruments). Below them are the '弦楽器' (String instruments). At the bottom is the '指揮者' (Conductor). To the left of the woodwinds are the '打楽器' (Percussion instruments).	森の狩猟		
	月の光、 水の精の踊り		
	ビシェフラト		